

村上春樹作品に登場する 音楽の読み解き方がわかる解説書

6/15 配本

ビーチ・ボーイズがよく登場するのはどうして？
ヤナーチェクは異界への入り口になっている？

本書では、村上春樹作品に登場する音楽から、ジャンルごとに20曲、合計100曲を選んで解説しました。

曲紹介を読んでいるうちに、小説の紹介になって、どうしてその曲が使われているのかもわかるようになるという、曲紹介からはじまる、新しい小説の読み方を提案しています。これ1冊で、村上春樹の小説も、登場する音楽もわかるようになっています。

巻末には「村上春樹の小説全音楽リスト」もついていて、具体的に紹介した100曲以外にどんな曲が登場しているのかもわかります。

読書ガイドとディスクガイドが融合した、ファン必携の1冊。



村上春樹の100曲

編著：栗原 裕一郎 定価：(本体 1,800 円 + 税) 四六判 / 320 ページ

CONTENTS

- まえがき
- クラシック～異界への前触れ
- 80年代以降の音楽～「60年代的価値観」の消滅
- ジャズ～音が響くと何かが起こる
- ロック～手の届かない場所へ
- あとがき座談会『1084』以降の村上春樹と音楽
- ポップス～失われた未来を哀悼する
- 村上春樹の小説全音楽リスト
- クラシック～異界への前触れ

PROFILE

栗原裕一郎

(くりはら ゆういちろう)

1965 年生まれ。評論家。主な著書に「< 盗作 > の文学史」(第 62 回日本推理作家協会賞受賞)、共著に「石原慎太郎を読んでみた」など。

貴店印	タイトル	ご注文数
	立東舎 [新刊] 村上春樹の100曲	新刊指定締切 6 / 1 (金)
	定価：(本体1,800円+税) ISBN978-4-8456-3239-8	冊

